

ながとじん 長門人



日本は蒸し暑いです

熱血。新鮮力。

クリストファー・バージェスさん
Christopher Burgess / 1966年10月6日生 / アメリカ合衆国オレゴン州出身 / 市教育委員会英語指導助手

※仕事は 英語を教えるために日本に来ました。来るまではとても不安でしたが、みんな親切にしてくれるので、助かります。(主に市内中学校の英語を担当され、要請があれば小学校にも行かれるとのことでした)

※趣味は 絵を描くことと運動(自転車、ウエイトトレーニング、ソフトボールなど)をすることです。

※日本に来て こんなに、蒸し暑いとは思いませんでした。アメリカでは建築の勉強もしていたので、日本のいろいろな建築物にはと



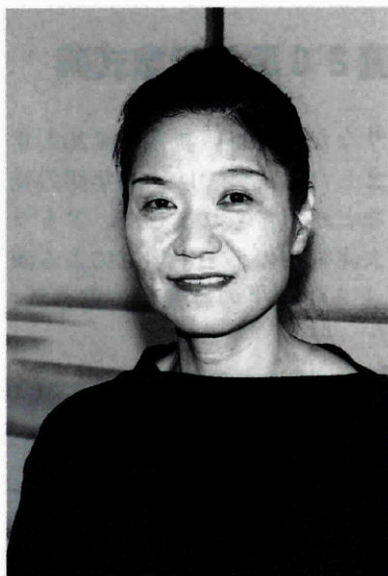
ても興味がありますね。長門市は、かなり田舎だと聞いていましたが、想像していたよりも「まち」だなど思いました(笑)。日本食では、豆腐、お好み焼きが好きです。うにと納豆は食べられません。

※自由に一言 見かけたら、気軽に声をかけてください。

和紙の切れ端、ティッシュ、新聞、電話帳などいらなくなった紙を水に浸し、ミキサーで攪拌、沈殿したものを漉くと、リサイクル用の紙の出来上がり。それでハガキ、ランプシェード、コースター、壁掛けなどを制作。その作品展を、自宅で7月22日〜23日の2日間開き、約370人の人で賑わいました。自宅とあって、中村さんの作品が所狭しと並べられ、作品の醸し出す雰囲気、和室に合って、来客者の気は満足しておられました。中村さんは、主婦業を続けながら20数年書道が続ける中で、和紙の魅力に惹かれ、3年前から和紙等のリサイクル作品を手がけているとのこと。昨年12月に主

再生紙で作品展

—ちよつと小耳に—



中村 洋子 さん

なかむらようこ / 昭和20年1月2日生 / 上郷区 / 主婦

人の転勤で、横浜から長門市にUターン。「地元の人達に勧められ、この度作品展を開きました。少しでも長門市の活性化になればと思っています。今度は、秋に市内で作品展を開きたい。」と話しておられました。



▲自宅での個展の様子